

シグマ研究委員会ドシメトリー積分テストWG議事要旨

1. 日 時： 平成2年11月2日（金） 13:30～17:00
2. 場 所： 東京大学工学部原子力工学科会議室
3. 出席者： 中沢、井口（東大）、岩崎（東北大）、小林（京大炉）、中川（原研）
4. 配布資料
 - DS-35 前回シグマ研究委員会ドシメトリー積分テストWG議事要旨（井口）
 - DS-36 報告書 2.2, 3.3 草稿案（井口）
 - DS-37 報告書 2.3, 3.1, 付録図 草稿案（中川）
 - DS-38 報告書 3.2 草稿案（小林）
 - DS-39 報告書 3.5 草稿案（岩崎）
 - DS-40 ドシメトリーファイル再編集作業（中川）
 - DS-41 誤差評価用実験データプロット図（中川）
 - DS-42 $^{93}\text{Nb}(n, n')$ ^{93m}Nb 反応断面積の評価（岩崎）
 - DS-43 「第7回 ASTM-Euratom シンポジウム」に出席して（小林／岩崎）
 - DS-44 ASTM-Euratom シンポジウムプログラム（小林／岩崎）

5. 議事

(1) 前回議事録等の確認

前回議事録が読上げられ、タイトルのSWGをWG、「GPF」を「実験値」に修正し、JENDL-3ドシメトリーファイルの報告書目次案の章番号の付け替えを行なった。また、 $^{199}\text{Hg}(n, n')$ 反応について、桜井氏の評価値を確認したことが付加された。

(2) JENDL-3ドシメトリーファイルの再編集作業

中川委員より、資料DS-40を用いて、JENDL-3ドシメトリーファイル編集内容の変更点が報告された。IRDF-90を入手予定につき、 $^{64}\text{Zn}(n, p)$ 及び $^{93}\text{Nb}(n, 2n)$ の共分散データを借用することとした。また、IRDFに入っていない共分散なしの反応については、実験データプロット図を各自眺めて線を引き、それを平均化して誤差データとすることとした。

(3) 報告書の内容検討

各自担当の報告書草稿案(DS-36～39)を簡単に紹介し、内容のチェックを行なった。基本的なフォーマットとしては、小林案を参考とすることにした。この他、作業スケジュールや原稿様式について、英文報告書の最終版完成を平成3年1月末を目標とすること、平成2年11月末までに、各自が付けた誤差付きグラフを中川委員宛て送付すること、

ファイル本体の完成は、平成2年12月一杯で作業完了とし、その後の新たな追加データについては、ノーコメントとすること、図表番号や参考文献は各節ごとにとりまとめること、次回会合に先立ち、報告書ドラフトを小林／岩崎両委員へ送付すること等が取り決められた。

(4) 第7回 ASTM-Euratom シンポジウムの紹介

小林／岩崎両委員より、資料DS-43～44を用いて、第7回 ASTM-Euratomシンポの印象記及び発表内容が簡単にレビューされた。

次回会合 平成3年1月28日（月）